

令和5年度 第1回 日立市地域創生事業評価会議について

1 日時 令和5年7月20日(木) 午後2時30分から午後4時50分まで

2 場所 日立シビックセンター101号会議室

3 出席者

(1) 評価委員 9名(1名欠席)

(2) 事務局 7名

4 会議内容

議事(1) 第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

【事務局】—資料4に基づき説明—

発言者	発言内容等
No.13 日立駅情報交流プラザの売上額	
委員	売上額が昨年度、今年度と達成度が上昇していて大変嬉しく思っている。令和3年度に開催した評価会議において、日立駅情報交流プラザにお客さんと呼べるような仕掛けや商品配置等の工夫が必要ではないかと意見を申し上げたが、先週日立駅に行った際に日立駅情報交流プラザが大変にぎわっていた。商品の陳列等も以前と比べると変わっていると思うが、その他何か特別な取組を行ったのか。
事務局	コロナによる行動制限の緩和の影響と、市外から本市に来訪いただけるような様々なイベント等の実施による効果と考えている。
No.21 担い手育成等に取り組む企業数	
委員	実績値は、具体的に事業承継が行われた数か。
事務局	具体的に事業承継が行われた数ではなく、後継者育成に関する研修への参加企業数や市が行う事業継承を支援する補助制度を活用した企業数を実績として集計している。
No.23 市内の高校卒業生の市内就業率	
委員	達成度が上がっているが、高校生の求人は増えているのか。大学生の求人を増やし高校生の求人を抑えているといった話を聞いたことがある。 また、就職先の業種はどこが多いのか。
事務局	特に中小企業が人材確保に苦慮している状況であり、高校生を含めた求人はかなり多いと伺っている。業種としては製造業が多い。
No.26 住宅取得等助成事業の利用件数(子育て世帯の住宅着工件数)	
委員	達成度がAからB評価に下がっている。実績値にある件数は、子育て世帯の着工件数が減っているのか、助成の申請率が下がっているのか。
事務局	本指標の実績値には「ひたちマイホーム取得助成事業」助成件数を使用しているが、令和3年度から、「同一の住宅について他の公的制度による助成を受けていないこと」を受給要件に加えた。 国の助成制度「こどもみらい住宅支援事業」は最大100万円、市の助成制度は最大71万5千円であること、国の助成要件が年々緩和され、申請者が増加していることから、市の助成制度の申請件数は減少している。助成制度の周知は図られてきていることから、子育て世代の申請率自体は上がってきているのではないかと

	と伺っている。
No.36 市公式SNSのいいね！の数	
委員	SNSは具体的にどのようなものを活用しているのか。また、令和2年度から比べると全体的にいいね！の件数が下がっているが、理由を伺いたい。
事務局	フェイスブック、ツイッター、インスタグラムを活用している。令和2年度は、コロナに関するワクチン接種や発生状況等の情報をSNSでも数多く発信しており、関心が高い内容であったため、多くのいいね！が付けられたことが理由であると考えている。
No.41 スポーツ合宿による施設利用者数	
委員	施設利用者数が増加しているが、旅行支援の影響はあったのか。
事務局	コロナによる行動制限の緩和の影響が大きいと考えているが、スポーツ合宿等での利用は優先的に施設予約が可能となる市の制度が周知され、利用が増えてきた影響もあると考えている。
No.43 ふるさと寄附金寄附者の来訪者数	
委員	本指標はどのような効果を測るための指標か。
事務局	寄附をいただいた方に市内施設の利用券を送っており、寄附者が本市に来訪してくれたか、興味を持ってくれたのかということを図る指標である。
総括	
会長	<p>今後実施する統計調査等で実績値を把握するため、「判断保留」となった指標もあったが、評価対象指標は、「S」及び「A」の指標の合計が48件で85.7%であるため良い評価ではないかと考える。数値目標として評価した3つの指標は、昨年度から達成度は変わらないが、基本目標2の「社会増減数」は達成率が上昇しているものの、基本目標3の「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の「出生数」、「20～39歳女性人口1,000人当たりの出生率」が下落している状況は、今後も人口減少問題における課題だと考える。</p> <p>人口増減には様々な要因があり、年度によって変動することも想定され、また、令和4年度はコロナの影響が残る中での評価でもあるため、令和5年度に関しては、事業の着実な推進をお願いしたい。</p>

議事(2) 令和4年度地方創生関連交付金に係る事業の評価について

【事務局】—資料5に基づき説明—

発言者	発言内容等
No.3 若者かがやき事業	
委員	参加者数は増えているが、「No.7(仮称)マイクロ・クリエイション・オフィス大みか事業」の予算と比較して大分少ない。もう少し予算が付くと更なる盛り上がりが見られるのではないかと。
事務局	ハード整備である「No.7(仮称)マイクロ・クリエイション・オフィス大みか事業」と比較して、「No.3 若者かがやき事業」はソフト部分の取組に対する予算であるため少なくなっているが、若者かがやき会議メンバーが企画するイベントは増えてきており、今年7月に開催したイベント(ドッグフェス)は県外からもお客

	さんが参加するなど好評であった。本事業は交付金活用事業であるため、予算等についての委員からのご意見を担当課に伝え、対応したい。
No.4 わくわく茨城生活実現事業	
委員	茨城県との連携事業だが、令和5年度の子育て加算額の増額（30万円から100万円に増加）は、日立市だけが増額したのか。
事務局	子育て加算額は各市町村が金額を選択できるようになっており、日立市は100万円としている。
委員	100万円は加算額として他市町村と比べて高い方なのか。当行の行員から、常陸太田市に引っ越すと補助が多いので引っ越すという話をよく聞くが。
事務局	子育て加算は、上限額が100万円となっている。本事業は、東京圏からの移住者が対象となっている補助であるため、委員お話の件は、近隣からの転入者に対する常陸太田市独自の取組のことかと思う。 なお、令和5年度わくわく茨城生活実現事業連携市町村は37市町村あり、その内、子育て加算額が100万円の市町村は日立市・常陸太田市を含む31市町村、30万円の市町村は6市となっている。
No.5 日立駅前再活性化事業、No.6 ひとたちの科学を軸としたまちの賑わい創出事業、No.7（仮称）マイクロ・クリエイション・オフィス大みか事業	
委員	事後評価の対象となっている4事業の内、「No.5 日立駅前再活性化事業」、「No.6 ひとたちの科学を軸としたまちの賑わい創出事業」、「No.7（仮称）マイクロ・クリエイション・オフィス大みか事業」の3事業は、令和4年度の総事業費が無いが、事業実施の必要性はないのか。
事務局	評価の対象である交付金を充当した事業に係る費用を、総事業費として記載している。「No.5 日立駅前再活性化事業」、「No.6 ひとたちの科学を軸としたまちの賑わい創出事業」、「No.7（仮称）マイクロ・クリエイション・オフィス大みか事業」は交付金の対象となる期間が終了しているため、総事業費としては記載していないが、事業は実施している。
委員	どの程度の予算でどのような取組を行っているか分かった方が良いのではないかと思うので、表現方法を検討してほしい。
No.7（仮称）マイクロ・クリエイション・オフィス大みか事業	
委員	利用者数が少ないが、どのようなPRを行って周知を図っているのか。
事務局	ミカケルは民設民営の施設であることから、PRは事業者が主体となりホームページやSNSを活用し頻度高く情報を発信し、東京圏からのテレワークの呼び込みだけではなく、地元の方の利用増加も図っている。また、茨城キリスト教大学の学生と連携したイベント開催等により、利用者の更なる呼び込みにつながっていると考える。
委員	イベント等に参加した学生にもPRをお願いして拡散するなど取り組んでいるか。若者や子育て世代には施設についてまだまだ浸透していないように感じるが。
事務局	コロナによる行動制限が緩和されたこともあり、更なる拡散に取り組むことで、より多くの利用者を獲得できると考えているため、委員のご意見について担当課につないでいきたい。

委員	ミカケルでは実際に子育て世代に向けたイベントを含めて多くのイベントに取り組んでいる。広報活動に関しては十分ではない印象があるので、ホームページだけではなくSNS等を活用しながら大学としても広報を行っていきたいと考えている。
No.8 デジタル化による安全・安心で持続可能なまちづくり事業	
委員	23学区の交流センターにデジタルサイネージ等を配備いただき、活用させていただいている。今後、デジタル支援専門員に支援いただきながら活用を図っていきたいと考えており、かなり効果が高い事業だと考えているが、一方で、高齢者が操作できないと活用が進まず、現在でもデジタルに詳しいスタッフの有無によってコミュニティごとに活用の度合いに差が出ている。市として事務の合理化・効率化に向けた活用方針や手法を示して、指導して欲しい。
会長	ご要望として承った。
その他	
委員	駅前には非常に良い施設があり利用者も増えているが、シビックセンター地下駐車場が大変利用しづらいため、何とかならないか要望したい。
事務局	令和5年度にシビックセンター地下駐車場の改修工事を実施する。 工事内容は、昇降装置及び立体パレット（車載台）の撤去、駐車スペースの平面化で、工事箇所は、全4レーンのうち1レーン（48台）である。
委員	また、「No.2 いばらきサイクルツーリズム推進強化事業」のイベントには大勢の方が参加されたようだが、サイクルツーリズムの市内のマップはこれから作るのか。
事務局	本日配布したチラシ等が入った袋の中に、マップを同封させていただいたのでご覧いただきたい。
委員	どこで配布しているか。
事務局	市内では、市観光物産課、日立市観光物産協会、日立駅情報交流プラザ（ぷらっとひたち）、サイクリストにやさしい宿（6か所）、サイクルサポートステーション（7か所）に配架している。
委員	ハレニコなどにも配架してほしい。
委員	サイクリングのほかにも、山を走る方がいるのでトレイルランニングやローカルなランニングコースがあると良いと思う。
総括	
会長	各委員から様々な意見が出されたので、事務局で吸い上げて活用していただきたい。 令和4年度地方創生関連交付金に係る事業の評価については、地方創生に「有効であった」又は「有効と言えなかった」のいずれかを選択することとなっている。 資料からは、いずれとも地方創生に有効であったと伺えるが、いかがか。 それでは、いずれの事業も「有効であった」と評価いただけたということでまとめさせていただきます。

議事(3) 地方創生関係交付金活用施設の視察

交付金を活用した施設整備の概要と、整備後の施設の活用状況等について説明

ア 日立シビックセンター科学館（サクリエ）

【説明者：公益財団法人日立市民科学文化財団科学館事業課】

イ 日立市屋内型子どもの遊び場「Hi タッチらんど・ハレニコ！」

【説明者：市商工振興課】

5 閉 会

以 上